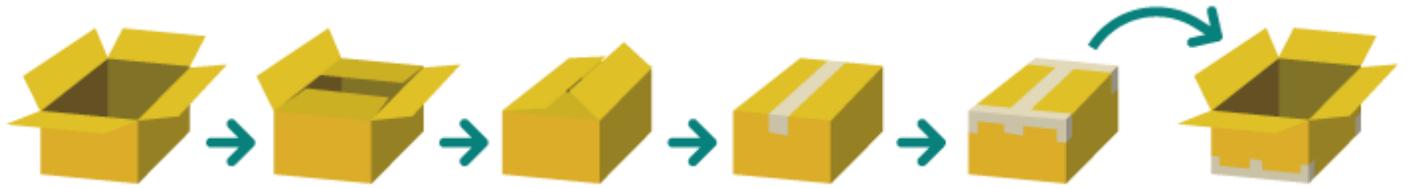


荷造り・梱包・箱ごとの明細など書類作成はお客様ご自身でお願いいたします。

梱包する際は、以下の点にご注意ください。

【 箱の作り方とテープの貼り方 】

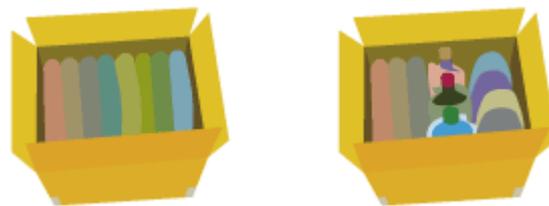


箱の底部、小さい蓋を先に、大きい蓋を後から折り込みます。大きい蓋をつけ合わせた部分をテープで留めます。つぎに小さい蓋の根元部分を両側ともテープで留めます。ひっくり返せば荷物を詰められる状態になります。
※小さい蓋と大きい蓋を互い違いに折り込んで組み立てるのはおやめください。

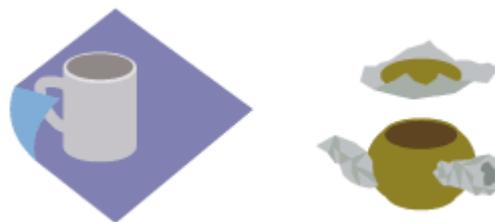
【 梱包の仕方：ガラスやセットモノなどの食器類 】



タオルや新聞紙の上に置き、手前から巻き込む。次に底の部分を巻き、最後に中に折り込んで縁の部分を保護します。



お皿は縦、グラス・お碗は伏せて、ピンなどは立てて。同じお皿でも1枚ずつタオルなどで包み、隙間には柔らかいものを詰めて、中身がぶつからないように。



取っ手などのあるものは、突起の部分を必ず保護してください。急須など蓋のあるものは、蓋を逆さにして、新聞紙などを挟んで割れないように。

【 梱包の注意点 】



荷物の入れすぎで膨らんだり、揺すって音がするような不完全な梱包は、荷物の破損の原因に。中身を減らしたり位置を変えるなど詰めなおしてください。



箱の上面に通し番号が印刷されたラベルを張ってください。側面4面に通し番号をご記入ください。割れ物がある場合は、上面に赤いマジックなどで「FRAGILE」とご記入ください。